

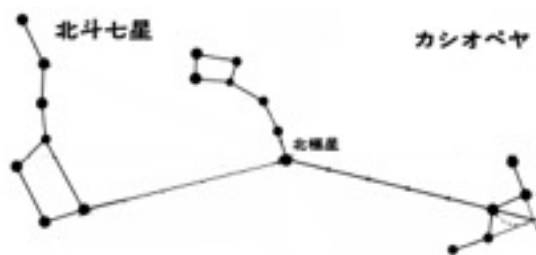
# クルリンと ほしぞらさんぽ 10月号

## これからがほしぞらさんぽの季節

気候変動のためか夏は山の方の天気が良くなってほしぞらさんぽがやりにくくなっているように感じます。でも9月には何日かほしぞらさんぽができましたね。日暮れが早くなって、ほしぞらさんぽの季節になりました。

## 北斗七星は見つかりましたか

ほしぞらさんぽに出たら最初にする事、それは北の方角を確認することですね。あなたは方位磁石で調べますか。それとも**北極星**を見つけて北



を見つめますか。どちらがかっこういいでしょうね？

10月ですと、北斗七星はもう北西の山にかくれていますから、北極星を探すには**カシオペヤ座**を使いますよ。

## 土星・木星と秋の星座

空を見上げて最初に気がつくのはとびぬけて明るい二つの星でしょうね。これは地球と同じ太陽系の惑星である**土星**と**木星**が見えているのです。

先に目に入るのは**土星**でしょうね。南の空に明るく輝いています。今年の空で土星がいるあたりは秋の星座の**みずがめ座**なのですが、この星座は明るい星が少ない上に星座が大きいので、星座として見つけるのは難しいと思います。逆に土星を見つけて「あの辺が**みずがめ座**なんだな」と見当をつけるといいでしょう。

もう一つの惑星・**木星**も東の中空に輝いています。**木星**は、これも秋の星座の一つの**おひつじ座**のそばにいますので、**木星**を目当てに**おひつじ座**を探せるかもしれませんよ。

あ、そうだ、**土星**も**木星**も星座早見盤にはありませんよ。どうしてだったか覚えていますか？

秋の星座で見つけやすいのは**ペガサス座の四辺形**でした。ほぼ天頂近くに上っていますので、この大きな**四辺形**は逆に見つけにくいかもしれません。

**ペガサスの四辺形**を見つけ、下の図を参考にし、東の空に見えている**アンドロメダ座**を見つけましょう。ギリシャ神話に出てくる**アンドロメダ姫**です。北極星を探すときに使う**カシオペヤ座**はこのお姫様のお母さんで、**ケフェウス王**のお妃です。次ページの星図で名前を探してみましょう。



**アンドロメダ座**には双眼鏡で見える大きな銀河があつて、**アンドロメダ銀河**とか**M31銀河**とか呼ばれています。広大な宇宙に無数にある銀河の中でも地球からおよそ250万光年と、特別近くにあるので、暗い空でなら肉眼でも見える銀河です。伊勢原の明るい空でも双眼鏡があれば見つけられると思いますので、左の星図と見比べて探してみましょう。日本の空で双眼鏡で見え



中央がアンドロメダ銀河M31、右はM33、左下は二重星団



る銀河は他にはないので、この冬の間は何度も挑戦して見つけられるようになりましょう。アンドロメダ座の足元にある小さな星座さんかく座は見つけやすいので探しましょう。

### オリオン座流星群 10/21

10月21日の夜半から明け方にかけて、オリオン座流星群が見られると予報されています。この流星群には特別に明るい流星がなくて、その上流星の数もさほど多いとは言えないようですが、秋の代表的な流星群の一つですので、お天気が良かったら見上げてみましょう。この流星群の元になる

宇宙空間のチリは、あの有名なハレー彗星がまき散らしていったチリです。

### 10月の月の様子

10月は下の図のように月が満ち欠けします。月を見るのにいいのはいつからいつまで？ ほしぞらさんぽはいつからいつまで？

